

## 2段階・履修項目(16)例題とポイント ＜高速道路での運転＞

### ＜練習問題＞

- ① 自動車専用道路では、原動機付自転車は走れないが、総排気量125ccの自動二輪車ならよい。  
(ヒント 下記1—①参照) 教本 P216
- ② 高速道路で後退は出来ないが、出口を間違えたときは、後退することができる。  
(ヒント 下記4—①ワンポイント参照) 教本 P220
- ③ 高速道路の本線車道が道路の構造状、往復方向に分離されていない区間での最高速度は、一般道路と同じである。  
(ヒント 下記2—ワンポイント参照) 教本 P217
- ④ 高速道路の本線車道を通行するときは、左側の白線を目安にしてやや左寄りを通行する。  
(ヒント 下記3—②参照) 教本 P219
- ⑤ 高速道路上では、危険防止のため一時停止することができる。  
(ヒント 下記4—③例外参照) 教本 P221
- ⑥ 高速自動車国道を走行するときは、タイヤの空気圧を高めにした方がよい。  
(ヒント 下記6—①参照) 教本 P224

### 1, 高速道路とは 教本 P216

「高速自動車国道」「自動車専用道路」の2つの道路のこと

#### ① 高速自動車国道と自動車専用道路のどちらも通行できない車

- ミニカー
- 125CC以下の普通自動二輪車
- 原動機付自転車

#### ② 高速自動車国道は通行できないが自動車専用道路は通行できる車

- 小型特殊自動車
- 故障車をけん引している自動車

ワンポイント



阪神高速道路は自動車専用道路だから、小型特殊自動車は通行できる。

### 2, 速度と車間距離 教本 P217

#### ① 高速自動車国道の最高速度と最低速度

- 最高速度・・・100km/h以下(大型乗用 中型乗用 普通 自動二輪)  
80km/h以下(上記以外の自動車)大型貨物など
- 最低速度・・・50km/h (通行可能なすべての自動車)

自動車専用道路の最高速度は一般道路と同じで最低速度の規定はありません

ワンポイント



重要

最高速度と最低速度は、あくまで高速自動車国道の本線車道のことです。

- 本線車道が道路の構造上往復の方向別に分離されていない区間では、この表の適用ではなく、一般道路と同じです。(対面通行になっている場所)
- 本線車道とは、加速車線、登坂車線、路側帯、路肩の部分を除きます。
- 本線車道以外では、最低速度を下回って走行することができます。

#### ②安全な車間距離の保持

- ・ 高速走行するときは、十分な車間距離をとって走行することがたいせつです

重要

80km/hでは80以上、100km/hでは100m以上です。

**重要**

高速自動車国道で霧などのために200m先が見えないときは、昼間でも前照灯をつけなければならない。(悪条件下での運転 夜間 安知 P51参照)

3、通行区分など 教本 P219

- ①本線車道の通行区分は車両通行帯のある一般道路と同じです。
- ②走行中は左側の白い線をめやすにして、車両通行帯のやや左寄りを通行するようにする。(接触事故の防止のため)
- ③高速道路の路側帯や路肩を通行してはいけません。
- ④登坂車線の利用(荷物を積んだトラックなど速度の遅い車が利用)

4、禁止事項 教本 P220

- ① 転回、後退、横断の禁止
- ② 緊急自動車の進行妨害の禁止
- ③ 駐車、停車の禁止



出口を間違えたときでも転回、後退、横断は **ちよつとでもダメ**

**例外** 危険防止(安全確保)のため、故障のためなど、パーキングエリアでの休憩など、料金支払いのため(駐停車できる。)

5、故障時などの措置 教本 P221

**重要**

- ①昼間…… 自動車の後方の路上に停止標示機材を置かなければなりません。(歩行が困難で、停止機材を置くことが出来ない場合は、停止表示灯を見やすい場所におくこともできる。)
- ②夜間……停止標示機材とあわせて、非常点滅表示灯か駐車灯または尾灯をつけなければなりません。(昼間でも視界が200m以下の場合も同じ)

6、高速道路利用上の心得 教本 P224

① 車の点検大型

**重要**

- ・ 燃料、冷却水(ラジエーター液)、タイヤの空気圧の確認
- 高速走行するときは、タイヤの空気圧をやや高めにする。

② 積荷の点検

**重要**

- ・ 荷物が転落しないように、積荷のチェックをする。
- ・ 荷物の積み方が悪い車の後ろをなるべく走行しない。
- ・ 停止標示機材が備え付けられているか確認。

**重要**  
10%~20%高め  
(タイヤが破裂するため!)

7、走行計画の立て方 教本 P226

**重要**

- ・2時間に1回くらいの休憩をとる。
- ・サービスエリア(ガソリンスタンドあるパーキングエリア)は50km~70kmごとにしかないので、ガソリンの給油は早い目に行う。

8、本線車道への進入 教本 P227

- ・加速車線を通行して十分加速し、本線車道の車の進行を妨げないように進入。

9、本線車道での走行 教本 P229

- ・急ブレーキの回避……エンジンプレーキを使うとともにブレーキを数回に分けて使う。
- ・急ハンドルの回避……わずかなハンドル操作でさけるようにしましょう。

10、本線車道からの離脱 教本 P233

**重要**

- ・案内標識による出口の確認……行き過ぎても後退、転回、横断はできません。
- ・減速車線の活用………感覚にたよらず速度計で確かめながら速度を落とす。
- ・一般道路へ出てから10分以内の事故が多いので気を付けてネ!